

【施策評価調査】

施策名	1-5-2	公共下水道雨水管建設		81	施策目的 政策を推進するには、駅西第一土地区画整理地区の雨水を処理するため、雨水管の整備を進めます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部上下水道課	担当	建設整備担当		施策内容 駅西第一土地区画整理地区の事業進捗に併せて雨水管整備を行い、平成20年度の完了を目指します。
		リーダー	阿久津幽樹		
環境変化	駅西第一土地区画整理事業の実施計画を平成24年3月31日まで延伸した。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 公共下水道雨水管整備延長 (m)	平成16年度末雨水管理設備総延長 42m	計画	270m	1,000m	1,773m		
		実績	318.0	370.2	917.6		
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	整備済累積延長						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	201,500,000	377,700,000	341,000,000		
決算	152,038,560	129,684,850	358,379,034			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
宝積寺処理区雨水対策建設費	当初 341,000,000	整備延長	A	管路延長が長く、多額の事業費を要することから供用開始に至っていませんが、区画整理事業と調整しながら計画的に事業を実施することで整備効果を発揮できるようにしたい。			
	決算 210,887,067	111.1m / 138m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
宝積寺処理区雨水対策建設費 繰越明許	当初	整備延長	A	管路延長が長く、多額の事業費を要することから供用開始に至っていませんが、区画整理事業と調整しながら計画的に事業を実施することで整備効果を発揮できるようにしたい。			
	決算 147,491,967	436.3m /		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	累積整備延長では、目標より遅れているものの駅西第一土地区画整理事業の進捗に合わせて計画的に整備している。 宅地化の進展によって、雨水処理が益々困難な状況を迎えつつある。雨水を速やかに排除することで浸水被害を防ぐことができることから、雨水管の整備は必要である。	多額の事業費を要するが、区画整理事業完了時には供用開始できるよう計画的に工事を進めます。鬼怒川の排出部は平成21年度中に完成させ、中坂部の工事は、通行規制が生じることから、地元説明会を開催し、迂回路等について理解と協力を求めます。
総合評価	総合評価 関連のある他施策と整合性を図った上で、継続的に施策展開されていると評価する。後期計画に向け、財政状況を勘案し、下水道事業としてトータルバランスを見極めた整備計画を検討すること。	